

北公民館

「寿大学と女性の集い交流グラウンド・ゴルフ大会」に参加して

「ゴルフ大会」に参加して

女性の集いおかだ 大政 恵美

恒例の「寿大学と女性の集い交流グラウンド・ゴルフ大会」が11月20日（水）に昌農内コミュニティ広場で開催されました。

会場には約70名の参加者が集まり、和やかな中にも緊張感がみなぎり、「頑張ろうね！」を合図に競技が始まりました。今回は11チーム（1チーム6名）の編成で8組に分かれ競われず。

知らない者同士のチームで



▲こちらでも気持ちよく交流しています。

試合は、「ホールイン・ワン」をするたびに、ほうぼうで歓声が上がったり、力が入り過ぎて場外までボールが飛び、天を仰いで嘆息をつかれる方がいたり、一喜一憂のうちに行進されました。女性の集いのメンバーの中には初めてクラブを握る方も数人いて、「参加することに意義あり」の精神で頑張っておられたようです。でも皆さん「今日参加できて良かったわ。」

▼ねらい定めた一打！



本当に楽しかった。その上、参加賞までいただいた、こんな大会なら毎日でも来たいわ！」と笑顔一杯で話しておられるのを聞き、本当に親睦を深めた有意義な大会だったのだなあと思えました。

今回のグラウンド・ゴルフ大会は、寿大学の皆さんとの出会い、そして健康の増進など感動の連続でした。今回も強豪「昌農内チーム」の連勝となりましたが、次回は打倒「昌農内チーム」をめざして練習に励み、ぜひ実現（何年先になるかわかりませんが…）したいと願っています。最後にになりましたが、大会にあたり色々お世話くださいました北公民館、寿大学、グラウンド・ゴルフ協会の役員の皆様から感謝申し上げます。

補導センターだより

柔道の失格問題から思うこと

松前中学校生徒指導主事

仲田 昌司

今年の6月、ある県の中学校柔道大会で「まゆを加工していた」ことが理由で6人の選手が失格となりました。新聞やテレビなどでも報道されたので御存じの方もいると思います。

その後、柔道関係の雑誌でも特集が組まれ、さまざまな方面から賛否両論の意見が出されました。私自身も指導者としての立場から「柔道選手らしい身だしなみ」について、取材を受けました。

私は、「全体的にこざっぱりした状態で、清潔感が第一である。相手に嫌悪感を与えるような身だしなみは良くない。そういう意味で、子どもたちのあこがれの対象であるトップ選手に「茶髪」が多いのは好ましい傾向ではないと思う。外見からきちっとした印象にしてもらいたい。」と答えました。

「身だしなみ」を考えると、忘れてならないのは、TPOをわきまえることだと思います。時と場、相手に応じて整えることが常識ではない

でしようか。たとえば、家族旅行ではラフな格好を楽しんでも、結婚式にはフォーマルな服装で参加するはず。では、中学生の場合はどうでしょう。最近では、だらしない格好が流行っているようです。また、それが個性で、外見だけで判断しないでほしいなどの意見もみかけます。本当に個性なのでしょうか。学校は、集団で生活する場であり、学習をする場です。そのためルールがあり、それを守るのがマナーだと思います。服装のルールを破ったり、着崩したりするのは、個性ではなく、自分勝手なままだと思えます。生徒全員が気持ちよく生活できることが最も大切なことだと思います。

「服装の乱れは心の乱れ」とよく言われます。家庭や地域において、子どもたちの様子が「おかしいな。」と感じたら、ぜひ、一声かけてやっってください。今後も、「正しい判断のもとに行動できる生徒」の育成に、ご協力をお願いいたします。